

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称			仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 仮
竣工年月	2019年12月	予定	<備考> ●高性能な建物の仕様を重視		
建設地	第一種住居地域	確定			
用途地域	7 地域		評価の実施日	2019年7月4日	
省エネルギー地域区分			作成者	田村 尚之	
構造・構法	木造・在来軸組工法	確定	確認日	2019年7月4日	
階数	2		確認者	田村 尚之	
敷地面積	282 m ²	確定			
建築面積	106 m ²	確定			
延床面積	127 m ²				
世帯人数	2	仮			

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

~0%: ☆☆☆☆☆ ~50%: ☆☆☆☆☆ ~75%: ☆☆☆☆☆ ~100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆

戸建標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア= 4.2

暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア= 4.3

長寿命に対する基本性能 維持管理 機能性

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア= 4.1

まちなみ・景観への配慮 生物環境の保全と創出 地域の安全・安心 地域の資源の活用と住文化の継承

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア= 4.7

総合的な省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア= 3.4

省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用 生産・施工段階における廃棄物削減 リサイクルの促進

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア= 3.8

地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>●評価対象住宅は、建替えであり、長年住んだ環境を壊さず、周辺にも配慮した計画とした。快適な暮らしを実現するために断熱性能の向上と太陽光発電を採用した。また、高性能な仕様・消費エネルギーの削減等を高める計画を実施し、結果、建物からも環境に配慮した。</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>●次世代断熱仕様、樹脂サッシ+トリプルガラスを採用し、冷暖房負荷の軽減、遮音性能を高めた ●日射調整への配慮 ●冷暖房計画を住宅全体を冷暖房する全館空調システムを採用し室内環境を快適に過ごせる計画とした</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>●地盤調査に基づく安全な基礎方式と形状の検討 ●外壁通気工法、及び連続的な断面区画、防湿シートの設置による、躯体の高耐久化 ●維持管理対策等級3を取得し、給水ヘッダー方式・給湯ヘッダー方式を採用し、維持管理のしやすさを計画</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>●省エネルギー化の手法として、負荷の低減では設計計画・外皮の断熱化・日射の遮蔽・熱交換器の採用等を強化し、またエネルギーの効率的な使用手法では高効率な設備を採用した ●太陽光発電も採用するなど再生可能エネルギーを導入した ●BELSを申請し、星の数最高の5つを取得した</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>●構造躯体用部材の生産・加工段階における廃棄物削減の取組として、プレカット工場での加工を採用した</p>
<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>●従前の地形を改変せず、既存の自然環境の保全に配慮した ●敷地面積に対する緑化面積率を考え、計画した。</p>	